

タツグ



神石高原町立神石小学校第3・4学年HP vol.5

複式の授業風景



もうすぐ1月が終わり、あっという間に2月を迎えようとしています。2学期末から、授業中、「コの字型」といわれる座席の配置を行っています。この配置にしてから、国語科の授業では、自分の考えを表現するだけでなく、友だちの考えを聞いて、質問したり、付け加えたりすることが徐々にできるようになってきています。

また、複式学級として授業を進めることで、リーダー（その日の日直）を中心に自分たちで学習を進めたり、板書をしたりと、自分たちで考えて授業に取り組む姿勢に磨きがかかっています。

来週2月1日（木）には、神石小学校自主公開があります。3年生は「モチモチの木」、4年生は「初雪のふる日」という教材で学習をしていきます。また、保護者の方だけでなく、町内外から多数の教職員が授業を参観します。子どもたちはやや緊張している様子ですが、当日、これまでに身に付けてきた力を発揮している姿を見ていただきたいと思います。ご多用のこととは思いますが、ご参加お待ちしております。



あいさつレベルアップ！

最近、3・4年生のあいさつがとてもいいなと感じることが増えてきています。ただ大きな声でのあいさつというわけではなく、相手の目を見て、きちんとあいさつする姿が増えてきました。その姿勢からこちら「今日も一日がんばろう！」という気持ちになります。

また、全校児童も職員や友だちの間だけでなく、来校者に対しても気持ちのよいあいさつをすることができます。子どもたちのあいさつがさらにレベルアップしていけるよう、ご家庭でも再度、あいさつの大切さについて話をしてみたり、子どもさんのあいさつはどうかとチェックしてみたりしてください。

